

復活後第3主日
家庭礼拝の手引き

黙祷

招きの詞

「イエスは、『さあ、来て、朝の食事をしなさい』と言われた。」(ヨハネ 21:12)

主の祈り

讃美歌 56 「主よ、命のパンをさき」

聖書 ヨハネ福音書(Yohanes)

21:1~14 (新約211頁)

説教「朝食の主」

とりなしの祈り

阪口新牧師

献金 [感謝と献身のしるしとして]

讃美歌 542 「主が受け入れてくださるから」

黙祷

多度津の信徒への手紙 2 章

4 月 26 日「朝食の主」ヨハネ福音書 21：1～14

愛する兄弟姉妹の皆さん。今週も手紙を皆さんに届けます。

「だから、多度津教会は落胆しません。たとえコロナウイルスによって『外なる教会』は衰えていくとしても、信仰によってわたしたちの『内なる教会』は日々新たにされていきます。わたしたちの一時の艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。」さあ、どの手紙の引用でしょうか？ちなみに先週はローマの信徒への手紙 1 章からでした。正解者の方に祝福がいつもの倍ありますように！正解しなかった方にもいつも以上の祝福がありますように！

さて、今日の物語は復活されたイエス様と弟子たちが出会う 3 度目の物語です。ペトロ、トマス、ナタナエル、ゼベダイの子ヤコブとヨハネ、そして他に二人の弟子たちは、故郷であるガリラヤ地方へと帰ってきていました。彼らはどんな気持ちで故郷へと帰ってきたのでしょうか。イエス様を本物の救い主と信じ、付いていったのに、イエス様は十字架で処刑されてしまいました。復活したイエス様にも出会いますが、まだ聖霊は注がれていません。恐らく、エルサレムに留まっても何をすればよいかわからず、帰ってきたのです。東京に憧れて出ていった若者が、夢破れて失意のうちに故郷へと帰ってくる、そんな物語と重なります。ペトロが「わたしは漁に行く」と言い出すと、他の者たちも一緒に行くことになりました。彼らはもう「人間を獲る漁師」を諦めて、普通の漁師に戻ろうとしたのかもしれない。ところが、そうして始めた漁もちっともうまくいきません。徹夜で網をおろしたのに魚は一匹もかからなかったのです。やることなすことすべてうまくいかない、本当にかっかりして、弟子たちは漁を終えようとしていました……

その時、岸边から声をかける者がありました。「子たちよ、何か食べる物があるか」なんだか聞き覚えのある声です。「ありません」と答えると、声の主は続けます。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」どうして彼らが網をおろす気になったのかわかりません。弟子たちは熟練の漁師たちです。彼らに分らない魚の居所が、岸边から眺めているだけの人間に分かるはずがないのです。けれども弟子たちはもう一度だけ網をうってみることにしました。そして、その賭けは見事に成功しました。なんと多すぎて船に引き上げられないくらい大量の魚がかかったのです！そこで弟子たちはついに気づきました！聞き覚えのある声の主に！「主だ！」そう叫んで真っ先に飛び込んだのはペトロです。他の弟子たちも、網をひきながらゆっくりと岸に向かって戻ってきました。

さて、岸に戻ってみると、声の主は本当にあのイエス様でした。すでに炭火が

起こしてあり、パンと魚が焼かれて、おいしそうなおいが立ち込めていました。そして弟子たちは招かれたのです。「さあ、来て、朝の食事をしなさい」イエスはパンと魚を弟子たちに与えられたのでした。

朝焼けの中でイエス様から頂く焼き立てのパンと魚、弟子たちはどれほど元気を回復したでしょう！復活物語の中でも最もほっこりする話だと思います。私はこの物語で、イエス様が朝食を用意しておられたことがとても気になりました。『いつかティファニーで朝食を』という漫画があります。28歳、東京のアパレル会社に勤務する麻里子は、7年も同棲しながら、結婚しない彼や何となく続くOL生活に疑問を感じていた！そんなある日、彼女は友人に誘われた早朝のカフェで自分の原点を確認する！彼女は素敵な朝ごはんのある家で育ったのです！彼女は彼と別れ、新しい生活を決意する！そんな朝食ストーリーなのです！

朝、昼、晩、3食のなかで朝食が最も大切なものであることはよく知られていると思います。教育現場では朝食と心の安定や、学力は相関関係にあることも分かっています。けれども、実際、一番軽視されるのは朝食ではないでしょうか？2019年の文部科学省の調査で朝食を毎朝必ず食べる小学生は86%、中学生では80%。大体2割の子どもたちが朝、食事をとっていないのです。夜通し働いて疲れている、夜更かししすぎて起きれない、朝は忙しいから食べる暇がない。保育園にもそうやって朝食を抜いてやってくる子どもたちは本当に多いです。「最後まで手放せないものが一番大切なものだ」と私たちは思いがちですが、一方で私たち人間は本当に愚かで罪深い者です。最も大切なものを真っ先に捨ててしまっているのも現実ではないでしょうか？今日の物語に、もし、イエス様が現れなかったらどうだったでしょう？夜通し働いて何も取れなかった弟子たちは、ばらばらに家に帰って、くたびれて食事をとることもせずに眠ってしまったのではないのでしょうか？ぬぐえない徒労感のなかで、日々を過ごすはめになったのではないのでしょうか？

けれども、イエス様はそんな弟子たちの前に現れてくださいます。声をかけ、疲れ切った弟子たちに、食事を与え、喜びを与え、復活させてくださいます。続きは来週読みますが、目的を見失い、諦めて帰ってきた弟子たちをイエス様はこの後、新しい旅へと派遣されます。イエス様の復活の福音を伝えに行く旅に！これは、イエス様の復活の話であると同時に、弟子たちの復活の話でもあるのです！目的を見失った人が再び生きる意味を見出す物語でもあるのです。イエス様は私たちが大切なものを捨ててしまいそうになる時、それをもう一度思い出させてくれます！「本当に手放して良いのか？」そう問いかけ、私たちを踏みと

どまらせてくれるのです。

私たちが真っ先に手放すものの中に「礼拝」が含まれているのは私たちの本当に悲しい現実の一つです。私たちは朝食と同じように、忙しいから、疲れているから、そういう理由で礼拝を手放します。コロナウイルス拡大による世界的な混乱。第二次世界大戦以降、最大の危機の時代だと言われます。先週、緊急事態宣言が発令されたときに、私の頭をかすかによぎったことがありました。「この非常事態だ。礼拝なんてしている場合ではないのではないだろうか？」本当に恥ずかしい限りです。もしかしたら、皆さんの中にも同じことを考えた方がおられるかもしれません。共に神さまの前に、罪を告白し、悔い改めましょう。

けれども、この思いを踏みとどまらせてくださったのは、教会員の皆さんでした。数人の方に教会に集まっての礼拝を休止することを伝えるなかで、様々な不安の声が聴かれました。「私が弱気になってはダメだ！こんな時にこそ、御言葉と礼拝が何より必要だ！」そう私に思わせ、何としても礼拝の準備を整えさせてくれたのは、声を届けてくださった教会員一人一人です。その中にイエス様の声があったことを私は信じて疑いません！

東日本大震災の津波の被害を直接受けた新生釜石教会の柳谷牧師は、その直後の主日礼拝を数名の方と礼拝を奉げたと話してくださったことがありました。正直言って、私はこの話にあまり共感できずにいました。「津波を被った直後に必要なのは、礼拝ではなく食べ物と生活必需品だろう。礼拝は生活が落ち着いてから開始しても良かったのでは・・・」とんだ思い上がりでした。皆が混乱と不安のなかで、本当に礼拝を必要としていたのでしょう。

今日の出来事が起きたティベリアス湖畔、つまりはガリラヤ湖とはどこでしょうか？もちろんイエス様の出身地です。そしてヨハネ福音書ではとても印象深い出来事が起きた場所でもあります。そう、お腹を空かせた 5000 人以上の人たち、弟子たちが追い返そうとした大勢の人たちとイエス様が食事を分け合った場所なのです！イエス様は私たちに必要なものをきちんと備えて、用意しておいてくださる方なのです！

私たち一人一人は今、厳しい現実の中にいます。熟練の漁師たちがどれほど知恵と力を振り絞っても魚を得られなかったように、人間の知恵や力だけでは太刀打ちできない事態に直面しています。けれども、そんな中で絶望し、倒れてしまわないように、岸边から声をかけてくださる方がおられることを私たちは忘れてはいけません。私たちが真っ先に捨ててしまう一番大切なものを思い出させてくださる方です。イエスは朝食を用意して待っていてくださるのです。「さあ、来て、朝の食事をしなさい」そう語りかけてくださるのです。さあ、今週もこの方に信頼しながら、主イエスの祝福のうちに歩んでまいりましょう！

とりなしの祈り

復活の主なる神さま、あなたの主日を与えてくださったことを心から感謝します。あなたは私たちに必要なものはすべてご存じです。そして今日、私たちに最も必要な御言葉を与えてくださっていることを心から感謝します。私たちは今、大きな混乱と不安の中、毎日を過ごしていますが、あなたへの信頼を深くしながら歩めるようにしてください。私たちの祈りをお聞きください！

神さま、世界中に蔓延するコロナウイルスの脅威におびえるすべての人のために祈ります。どうかその不安がやわらげられますように。早く収束しますように。特に対応してくださっている医療従事者の方々の働きを助けてください。

神さま、今徒労感と疲労感にさいなまれているすべての人にあなたの復活の命を与えてください。必要な休息と御言葉が与えられますように。神さま、今、目標を見失い生きる意味を見出せないすべての人のために祈ります。あなたの復活の希望がいきわたりますように。新たに歩みだす力が与えられますように。

神さま、今、誰かの助けが必要なすべての方のために祈ります。空腹の人には食事が、孤独な人には隣人が、暴力を受ける人には守り手が、病の人には治療が、今困難のなかにあるすべての人に必要な助けが与えられますように。

神さま、私は～のために祈ります（ご自身の祈りの課題をお祈りください）

神さま、今日、共に礼拝を奉げるすべての愛する兄弟姉妹のために祈ります。私たちは同じ礼拝堂で同じ席についていなくとも、共に礼拝を奉げることができます。どうかそれぞれの礼拝が祝されますように。また、今週一週間もそれぞれが神に仕え、隣人に仕え、神を愛し、隣人を愛する歩みができますように！

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりがあなたと共にあるように、アーメン！